

スマートシティ 訪中産業技術フォーラム

期間：2011年5月5日(木)～5月11日(水) (7日間)

－ 参加者募集のご案内 －



企画主催：一般社団法人 日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F

TEL：03-6229-1946 FAX：03-6229-1940

<http://www.jef-site.or.jp/>

取扱旅行社：万達旅運株式会社 ワンダートラベル

総合事務局：株式会社アジア技術移転機構

参加のおすすめ

世界中で「環境産業革命」が進み、環境産業と環境都市開発が急成長する中で、中国は、天津や深圳など13ヶ所をモデル都市に選出し、将来は全国100ヶ所に建設するという、壮大な「スマートシティ」(先端環境技術都市)の計画を進めています。天津では、世界最先端事業として2020年完成をめざし、総投資額3.8兆円で人口35万人規模の低炭素・環境都市「生態城」が建設中です。スマートシティは、次世代発電・送配電網をはじめ、エネルギーマネジメント、太陽光・熱発電、充電・蓄電装置、スマートビル・ハウス、次世代自動車・バッテリーなど、「スマートグリッド」を中核とする膨大な先端技術群によって構成される一大産業であり、巨大市場を形成するものです。

中国スマートシティプロジェクトに対する日本企業の取り組みはまだ始まったばかりで、この機会に中国スマートシティの開発状況を把握すると共に現場視察を通じて、日本企業の新たなビジネスチャンスを探ることを目的としております。

丁度この時期に上海において、“SMART GRIDTEC CHINA 2011”(China International Smart Grid Technology and Equipment Exhibition)が開催されますので、大変よい機会と思います。

一般社団法人日本技術者連盟
会長 星野 克美

スマートシティ訪中産業技術フォーラム 団長・コーディネーターのご紹介

団長・コーディネーター

星野 克美

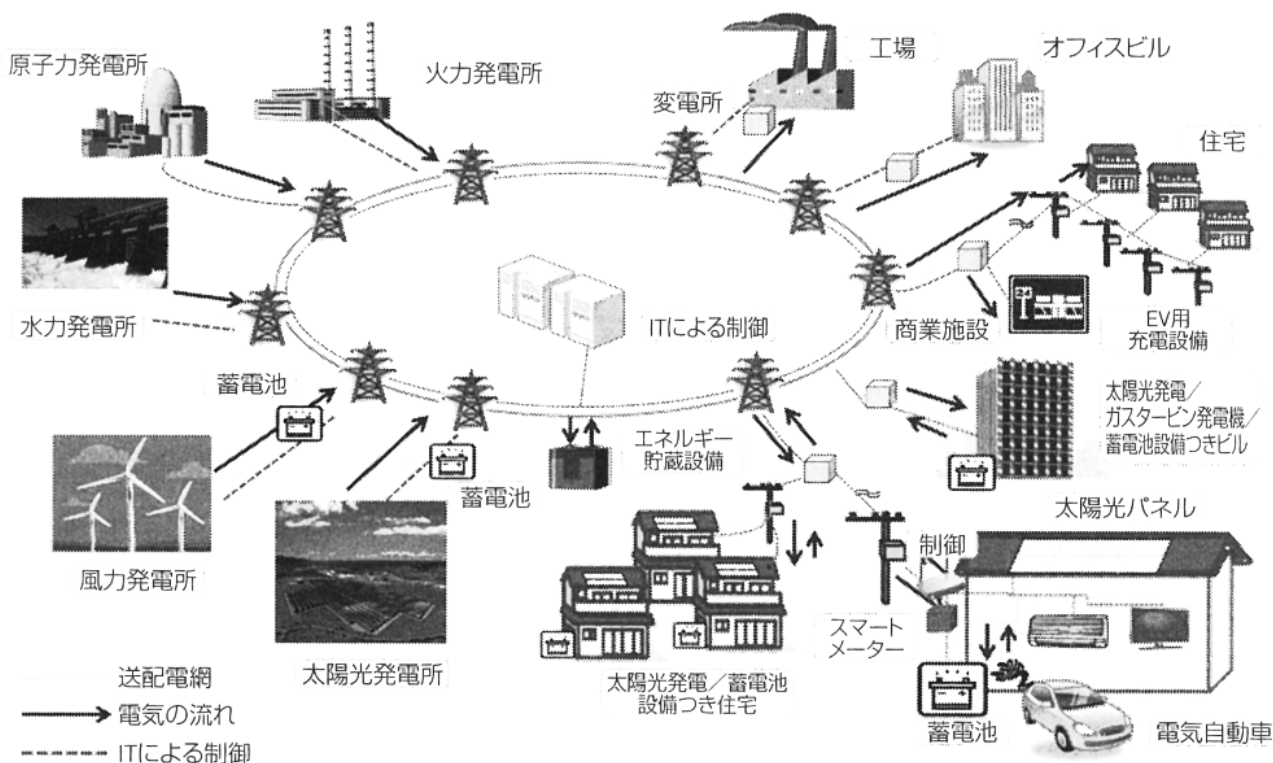


多摩大学名誉教授
一般社団法人日本技術者連盟会長

名古屋大学経済学部経営学科卒。筑波大学社会工学系・同大学院経営政策科学研究科助教授を経て、多摩大学 経営情報学部・同大学院経営情報学研究科教授。環境NPO「GreenSophia」における地球環境未来学研究、グリーンビジネス・グリーンコミュニティ開発研究のほか、ITビジネスモデル開発研究、個人情報保護事業研究を専攻。「記号論マーケティング理論・手法開発」の世界的パイオニア。

主書:『地球環境文明論』(ダイヤモンド社)、『これから5年東京はこうなる～ユビキタス都市革命～』(PHP研究所)、『IT革命に必ず勝つ会社』(学生社)、'Semiotic Marketing and Product Conceptualization'など。

スマートグリッド/スマートシティの概要



出典:横山明彦他著『スマートグリッドの構成技術と標準化』
(日本規格協会)

訪問先概要

※ 訪問先は変更する場合がございますので予めご了承下さい。

1. 中国国家電網公司(北京)

中国最大の電力配送会社で、中国全土へ送電・変電・配電をしている。スマートグリッドの構築プロジェクトに対する投資額を今後2年間で1,700億ドルに倍増させる方針であり、資金の一部は、中国政府が発表した総合景気対策の予算から拠出される予定。送電では送電網の整備・改良がさらに進む見通しであり、特に「スマートグリッド」が注目されており、整備計画が進んでいる。これは特に発電設備業界にとってはプラス志向である。

2. 中新天津生態城(中国・シンガポール天津エコシティ)(天津)

中国とシンガポールの協力事業として、天津濱海新区内の約30km²の塩田跡において進められている、大規模環境都市開発プロジェクト。省資源・資源循環の効率化をコンセプトに、飲料水の提供や、使用電力の20%以上を太陽光発電や地熱など再生エネルギーにするなど、26にわたる重要業績評価指標を掲げている。2008年9月から建設が始められており、2013年頃に4km²の初期開発区が、2020年～2025年頃に人口35万人、11万戸の都市が完成する計画となっている。

中新天津生態城管理委員会の建設工作グループ責任者とのディスカッションを予定。

3. 深圳市ハイテク技術開発区(深圳)

深圳市東部再開発について深圳市副市長他関係者とのディスカッションを予定。

珠江デルタ地区発展計画概要(2008—2020年)にみる現地の実態について

SMART GRIDTEC CHINA 2011 2011年5月5日～5月7日 新上海国際展示場

第一回中国スマートグリッド・テクノロジー・機器展示会(スマートグリッドテク2011)は、5月5日から7日まで、新上海国際展示場にて開催されます。スマートグリッドテク2011は、スマートグリッド技術並びに機器の急速な発展に寄与する、発電、送電、配電、活用、スケジューリングを含むあらゆる分野に係わるIT活用、自動化並びに相互作用のテーマにフォーカスしています。展示会と同時並行的に開催される、中国スマートグリッドフォーラムには、スマートグリッド分野の第一線で活躍する、国内外の業界のリーダー、専門家が参加します。フォーラムの論題には、インテリジェント・ネットワーク・スタンダード、分散型エネルギー、スマート電力配分自動化、インテリジェントホーム、電気自動車充電所、並びに他の分野への応用が含まれます。

* 詳細はURL:<http://www.enf.cn/jp/expo/851x.html>又は、<http://www.smartgridtec-china.com/>をご参照下さい。

スケジュール表

日程:2011年5月5日(木)～5月11日(水)

※訪問先、発着時間、交通手段等は都合により変更する場合がございますので予めご了承ください。
※飛行機はエコノミークラスを利用します。

日程	地名	交通手段	時間	スケジュール	宿泊ホテル	食事
5/5 (木)	東京(成田)発 深圳着	CA-930 専用バス	13:00 15:05 20:35	成田空港第一ターミナル4F中国国際航空カウンター前集合 搭乗手続きの後結団式 中国国際航空にて(上海経由)深圳へ 到着後、ホテルへ	富臨大酒店 (フェリーシティ ホテル)	機内食
5/6 (金)	深圳滞在 深圳発 上海(虹橋)着	専用バス MU5346	17:30 19:40	・深圳市ハイテク技術開発区 移動	粵海酒店 (カントンホテル)	朝 ホテル 昼 ○ 夕 機内食
5/7 (土)	上海滞在	専用バス	終日	・SMART GRIDTEC CHINA 2011視察 及び関係者とのディスカッション	粵海酒店 (カントンホテル)	朝 ホテル 昼 ○ 夕 ○
5/8 (日)	上海(虹橋)発 天津着	CA1534	11:05 12:55	国内線にて移動	天津泰達中 心酒店(テダ セントラルホテル)	朝 ホテル 昼 ○ 夕 ○
5/9 (月)	天津滞在	専用バス		・中新天津生態城管理委員会 ・天津エコシティ視察 ・夜 スマートシティビジネスジョイントフォーラム&懇親会開催	天津泰達中 心酒店(テダ セントラルホテル)	朝 ホテル 昼 ○ 夕 ○
5/10 (火)	天津発 北京着	専用バス	午後	バスにて移動(約2時間) ・中国国家電網公司	首都大飯店 (キャピタルホテル)	朝 ホテル 昼 ○ 夕 ○
5/11 (水)	北京発 東京(羽田)着	専用バス CA-181	8:30 12:50	北京国際空港出発 東京国際空港(羽田)到着後解散		朝 ホテル 昼 機内食

- 調査期間 : 2011年5月5日(木)～5月11日(水) 7日間
- 団長・コーディネーター : 星野 克美 氏 (一般社団法人日本技術者連盟 会長、多摩大学名誉教授)
- 添乗員 : 全行程同行致します。
- 通訳者(日⇄中) : ベテラン適任者
中国国内滞在中の全行程に同行致します
- 参加費 : ￥483,000 (消費税込)
※詳細は以下をご参照ください
- ホテル : 原則的に一人部屋
- 募集人員 : 20名(最低人数15名)
- 申込締切 : 2011年4月8日(金)
- 利用予定ホテル : 富臨大酒店(フェリーシティホテル)、粵海酒店(ガントゥンホテル)、
天津泰達中心酒店(テダセントラルホテル)、首都大飯店(キャピタルホテル)
- 利用予定航空会社 : 中国国際航空

参加費に含まれるもの

運営業務費(プログラム企画・運営費、通訳、添乗員同行費、訪問先関係費、報告書作成費など)
事前研修費(資料費、会場費、講師費など)
団体エコノミークラス航空運賃
ホテル宿泊費(税・サービス料含む)
一部食事代(日程記載分(機内食含む)、飲み物代は別)
現地陸上交通費(空港・ホテル・視察先への専用バス代、ガイド代、列車代、チップ代など)
見学・現地ジョイントフォーラム開催費用
手荷物運搬料金(移動時の運搬料、ホテルなどのポータレッジ代など)
通訳料

参加費に含まれないもの

燃油特別付加運賃、空港税など
渡航手続き諸費用(旅券取得費用、渡航手続き取扱い料金など)
個人的経費(ホテルにおける電話代、クリーニング代、チップなど)
集合時及び解散後の交通費
超過手荷物料金(エコノミークラスは20kg以上)
任意の海外旅行傷害保険
障害・疾病に関する医療費

取り消し料金

実施日から起算し、さかのぼって30日以降3日まで : 費用の20%
実施日から起算し、さかのぼって2日前以降 : 費用の50%
実施日以降の不参加は、全額申し受けず

総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. (ATTO))

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F TEL : 03-6229-1950 URL : <http://www.atto-asia.jp>

お申込みは別紙に必要事項をご記入の上、事務局までFAX(03-6229-1940)又は郵送でお送り下さい。